

洋書輸入協会会報

VOL. 3

NO. 7

昭和44年7月

理事会報告

6月10日(火)

- (一) 白鷗洋書株式会社入会申込の件審議。
- (二) 大学紛争委員会より提案の件承認、J B I Aにて周知することとする。
- (三) British Week 委員会及び渉外 P. R. 委員会より British Week に関する件報告。
各方面よりの問い合わせに対する返事、武道館における展示準備から、包装紙の問題に至るまで、両委員会の委員長は、応待に忙殺されている有様である。
- (四) 三修社問題報告。尚協力を得られず推移している。
- (五) ジョリー・アンド・ブラッシュ社が、9月上旬をもって英国出版代理業及び販売業務の一切を打ち切られる件及び北尾新社東京営業所廃止の件報告。
- (六) 懸案であった Avant-Garde 通関の件、異議申立が認められて輸入許可となった旨報告。
- (七) Air Cargo の通関の迅速化について討議。
- (八) 文化厚生委員会より基会旅行についての報告。

6月27日(金)

- (一) 白鷗洋書株式会社入会の件承認。
- (二) ドイツ書展示会の件。
独国 Ausstellungs und Messe GMBHより、今秋日本においてドイツ書展示会を行う由の来信と展示カタログの送附があった。之は昨年に一度連絡があったものであるが、協会としては協賛するだけで、一切先方で取りしきられる予定。尚 British Week と重複しないよう日程を報せておくこととする。
- (三) 通関委員会報告。
かねてより要望のあった版元から original のインボイスを二通以上取り寄せる件。フォームを作って各社に配布するよう決定。
- (四) British Week 委員会及び渉外 P R 委員会報告。
British Week に関する事務が愈繁忙となって来ている。
会員で英国書の代理店となっており、出品希望の向きには会場の許す限り便宜を計る旨の通知を決定。
- (五) 雑誌資料委員会報告。
- (六) 洋書交換委員会報告。
今秋の合同セールは10月9・10・11日に開催する。
- (七) 雑誌欠号委員会報告。
 - (1) 米国海員ストは、6月16日に和解した由。
 - (2) 米国 Mack Printing (A. C. S. の Printer) よりの来信によれば、ストの影響で Chemical Abstracts の刊行遅延は、9月頃まで影響が及ぶ由。

関西支部だより

6月5日 型録委員会。

Credit Card 計画について J C B の説明会あり。

6月10日 厚生委員会。海の家計画決定。

6月13日～14日 東西合同懇親旅行。支部長以下17名参加。

6月23日 型録委員会。

東北懇談会だより

6月13日 PM 6.30～9.00 青葉会館に於て会員6社出席し懇談会開催致しました。

- (1) 大学紛争対策。東北大学でも最近紛争が続いて居るので万一重大なる事態に立至った場合大学当局に解決促進について陳情することにした。
- (2) 直送品の配達遅延の件。最近仙台郵便局に於ける配達が遅れ勝ちなので改善方要望することにした。
- (3) 懇談、友好裡に終始。

通関委員会報告

東京税関東京外郵出張所に、次の方々が新任されましたのでお知らせします。

関税審査官 管理課長 久代 力 氏

関税審査官 輸出課長 名取 肇 氏

関税審査官 輸出第一課長 結城 章 敏 氏

関税副審査官 斉藤 光 司 氏

通関委員会を代表して、4社(丸善、紀伊国屋、海外出版、国際書房)6名が、7月3日午前10時30分、挨拶に参上し、関所長、田嶋、久代、名取、結城、各審査官の方々と懇談いたしました。

席上、関所長より、税関と業者相互のコミュニケーションの場として、外郵出張所にて通関を行っている各種業界を纏めた連絡機関を設けたいと考慮しているが、具体化するに当っては洋書輸入協会が世話人となって協力されたいとの趣旨のお話がありましたことを報告いたします。(丸善 柴田記)

第五回東西合同懇親旅行

6月13日(金)2時、宇治山田駅で、関西支部のメンバーの方々や東海地区の方々とお会いする。昨年の片山津の旅から一年目、久しぶりに会う方々の談笑でにぎわう。

総勢59名、観光バスを仕立てて伊勢神宮に参拝する。都会では忘れがちな緑の風に接し、すがすがしい気持ちで一路宿泊地の渡鹿野に向う。

伊勢、志摩国立公園に位置する渡鹿野島は穴川より船で約50分。周囲4軒の小さな島である。穴川より乗込み、夕暮れの景色を眺めながらの一時を過ごす。ほどなく島一番の朝潮ホテルに到着する。海の青さが本当にきれいでした。関西支部の当番で幹事役のUS岡崎氏の手際よい部屋割で夫々、指定の部屋にくつろぐ。又伊勢の海が眺望できる大浴場で旅の汗を流す。

理事長代理の関口氏の御挨拶。US岡崎氏のユーモアたっぷりの司会で宴会が開かれる。石内理事の音頭で乾杯。文化厚生委員長・渡辺理事の挨拶ならびにフランクフルト視察旅行団の説明。関西支部丹羽理事の挨拶とつづき、宴もたけなわになる。地元のきれいどころのお酌も手伝い、メートルのあがり具合も早いようだ。岡崎氏の司会進行で芸能コンクールが始まる。理事諸公の審査で一等、二等、三等賞が決められることになる。理事諸公の隠し芸の披露が花をそえ、コンクールもたけなわ。一等賞にタトル森氏、二等賞に洋販・植田、柴山氏が決まる。名古屋丸善の佐野氏の夜の観光案内もあり、盛会裡に幕をとじる。このあと、麻雀組、囲碁組と夫々思い思いの夜をすごした。

翌朝、心配された天候も一同の日常の精進の賜物か、よい天気である。朝食後、水中翼船で鳥羽に向う。鳥羽にて、合同懇談会を開く。話題の大学紛争における協会の意見の統一など、丹羽理事の進行ですすめられる。

昼食後、解散。お互いの健闘を祈りながら別れる。

東西合同旅行も回を重ねるたびに盛会になり、大変喜ばしいことと思います。

楽しいひとときをすごさせて下さった丹羽理事、US岡崎氏をはじめ、関西支部の皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。(洋販 柴山 毅記)

「伝統と発展の英国展」

英国大使館、英国フェア事務局（ベン・ソーン事務局長）は、来る9月26日から10月5日まで東京で開催される「英国フェア'69」の主要行事の一つである、日本武道館における総合展示の名称を『伝統と発展の英国展』と決定しました。（英文名称は“Britain in Tokyo”）

英国フェアは9月26日の朝、国立劇場での開会式で幕をあけます。マーガレット王女のご出席がすでに決定しており、内外の名士をはじめ、招待者約1,000人による盛大な式典となります。この他、英国フェアの期間中には各種のディナー、パーティ、レセプションなどが開かれ、日英両国の関係者の親交の場となりますが、英国側からの来日予定者の中には、英国政府商務大臣およびロンドン市長が含まれます。

この展示会は単なる貿易見本市ではなく、英国の伝統・文化と産業の発展を東京の皆様へ直接知っていただくという試みであります。

『伝統と発展の英国展』はいくつかの部門にわかれます。『発明の国・英国』部門では今日までの科学文明の発展にはたした英国の役割を説明し、『日英関係展示』では日英両国の密接な歴史的関係を示す数々の展示品が出展されます。

すでにエリザベス女王陛下の個人コレクションからも幾つかの貴重品がこの展示会のために公開されることになっており、その他、水戸の徳川彰考館など、著名な美術館、博物館などの御好意で由緒ある数々のコレクションが展示できることになっています。

武道館内には、英国風居酒屋（パブ）がそっくり建てられ、入場者はそこで安い本物のスコッチを賞味できます。おそらく、日本には初めておめえする英国産生ビールも販売されます。有名なトラファルガー広場を背景にした、このパブ『ネルソン卿』に華やかなるネルソン時代のムードが作り出されます。

また『ブラウン家』と題する展示部門には英国の典型的な家庭内部を英国製家具調度品で再現してごらんに入れす。

カウンシル・オブ・インダストリアル・デザインは、選ばれた500以上に及ぶグッド・デザイン実用製品を出品しますが、この中の多くは英国フェア期間中に都内各店で売り出されるものです。

英国飲食料品展も同時に開催され、おなじみのもの、また、目新しい食品を来観者は試食することが出来ます。

英国製品といえば、まず思い浮ぶ毛織物では400点の新柄デザインの服地が、洗練された芸術的ムードあふれるセッットに配置され、来場者の人気投票により抽せんで、当選者には賞品として〇着分の生地が提供されるよう企画中です。

書籍、雑誌、切手の展示、BBC、BOACの出展参加が英国ムードをいっそう盛り上げます。

この武道館における『伝統と発展の英国展』以外にも英国フェアの主要行事として数々の興味ある展示会や商品売り出しが行われます。

武道館前の広場では英国製自動車及びカー、アクセサリーなどの展示会が、科学技術館では英国科学機器、航空宇宙産業展、銀座ソニー・ビルでは家庭用電気製品、オーディオ機器、暖房機具の展示会がそれぞれ開かれます。

都内の主要百貨店10店では、英国の歴史、文化、伝統、或いは現在の英国などをテーマにした文化催事が、それぞれ趣向を凝らして開催されます。

なお、ロンドン・フィルからポップ歌手まで、世界的なファッション・ショウからオックスフォード・ケンブリッジ・サッカーチームまで、そしてヘンリー・ムアーの彫刻展から、バラのコンテストまでと、盛り沢山の文化・芸能・スポーツ行事が英国フェアのムードを盛りあげます。そして、それらの各会場を結んで、すでにおなじみの赤い二階建てロンドン・バスが走りまわります。

このように、英国フェアは、日英両国の友好関係を助長すること、英国のビジネスマンの間に日本市場の重要性を更に認識させること、及び英国の輸出を振興することの三つの目的を持った総合的行事と云えます。

—英国大使館・英国フェア事務局提供—

洋書こぼれ話

昭和初期の大物洋書（むすび）・その他（その4）

丸善本の図書館長 八 木 佐 吉

Franz Philip von Siebold の大著 “Nippon. Archiv zur Beschreibung von Japan und dessen Neben u. Schützländern. ……の複製版 5 巻1930-31年。ベルリンの Wasmuth 出版。シーボルトのこゝ及び彼の大著述「日本」については、今更説明を要しないほど世に知られているところであろう。しかし、シーボルトが1830年に追放されたかたちで日本を退去、帰国後直ちに出版体制に入って、早くも1832年に才1分冊を出した「日本」は、以降約20年間に亘って分冊で刊行されたために、図版にしても、本文にしても、それらをことごとく揃えた完璧なセットは甚だ少ない。1852年最終の分冊を出したときも、これで完結ではなく、なお続く心算であったのが、いろいろの事情でこの分冊が最後のものとなったようなわけもあった。あとで、オランダで売れ残った分冊を引きうけたイギリスの Quaritch 書店の校訂書によれば、図版 365 枚以上のセットを完本（に近い）と見なすとある。それほど、出入りがあるというわけ。

複製「日本」ファクシミリ版は、編集及び解説者、トラウツ博士の手でヨーロッパ各地に散在する「日本」を広くたずねた結果 386 葉の図版を収録し、江戸参府記も原本に欠けている室の津からの分を別冊に補遺したりして、望み得る最完全本「日本」といってよいモニュメンタルな文献である。そもそもこの複製版「日本」はベルリン日本学会で Dr. F. Trautz 氏に托して編集と出版を企図した大事業であった。1928年に計画を発表し、200 部の予約者を世界中から募り、予定に達してのち出版するということがあった。日本からは58セットの予約があり、結局1930-31年にかけて出版された。図版 2 巻、本文と解説・補遺 3 巻で予約価 500 円であった。当時この予約用の内容見本をドイツから送って来た。それが原寸大の色刷図入りの立派なもので、税関では、無代の prospectus としては許可困難な一枚絵画との取扱いを受け、輸入税を何十円か支払ったという話ものこっている。

予告した「昭和初期の大物洋書」のリストにはなお二、三の未解説のものを残すが、この項は一応こゝでむすびとして、一般の洋書のことに立戻ることとする。

1928年以来 Leipzig の Karl W. Hiersemann 書店からドイツ人で日本歴史の学者 Oskar Nachod 編にかかわる日本書誌 “Bibliographie von Japan. ……が継続出版され、1940年までに 6 巻を出した。

日本に関する欧文書目は以前から数種あるが、系統的に、また出版年次的に継続したものは、このナホッドの「日本書誌」で中興されたとしてよい。そのことを少しく説明してみる。まず、フランスの Leon Pagès 編の Bibliographie japonaise ou catalogue des ouvrages relatifs au Japon……depuis le XVe Siècle jusqu'à nos jours.

が1859年にパリで出版されたのに始まる。これは8折本70頁ほどの書目で日本関係書がマルコ・ポーロを始めとして、六百五、六十点収録されていて、当時としては便利な目録であったとみられる。しかし、パゼスは何十年か後に、自分の書目を継いでくれる編集者が出るとは夢にも思っていなかったことであろうが、1895年に、ドイツ人の二代目が現われたのである。

Fr. von Wenckstern 氏編の A Bibliography of the Japanese Empire. Being a classified list of all books, essays and maps in European Languages relating to Dai Nihon. ……がそれである。このウエンクステルン「大日本書史」（素紙の日本語タイトル）の才一巻にはパゼス以後つまり1859年から1893年（安政6年から明治26年）までの間の欧文日本関係文献が本文 311 頁にぎっしり収載されている。版元はライデンの Brill 書店。なお、この本には Pagès の書目が全頁 facsimile で reprint され附録として綴込まれている。

ウエンクステルン氏はその後、来日して（たしか才五高等学校の語学教師）、更に続編「大日本書史貳」を今度は丸善から出した。1907年（明治40年）出版である。才2巻は約550頁で1894年から1906年間のジャポニカが載っている。この書目は発行当時大新聞であった国民新聞の書評欄でとりあげられた（明治40—8—24）。“東洋文物の研究は却て泰西人士の手を籍る者多きは、ひそかに心外千万のことと存じ……著者が3年間の夏期休暇と、その他の閑を節して、一個人の力でこの大判大冊の大著述を為すにおいては、吾人をして唯嘆賞せしむるの外、言葉なく”と評している。

Oskar Nachod の日本書誌 6 巻は、上記 Wenckstern 大日本書史を継ぐ書目として編著されたわけである。けだし、Leon Pagès の3代目と称してよいであろう。収録文献の年代はウエンクステルンの才2巻につづいて、1906年から順次1937年に及んでいる。掲載文献が、さらに完璧さを増していることはいうまでもない。ナホッド6巻には、ウ氏の逸したものの補遺もあり、33,600余タイトルの日本関係文献が収められている。なお、Nachod 氏は1933年逝去し、その遺業でもあり、偉業でもある書目編纂の仕事は、生前からの協力者 Hans Praesent と Wolf Haenisch の両氏に引きつがれたのである。戦後ナホッド氏の近親某（逸名）がこの書目の続編を企図し、出版の準備中ときく、まことに「泰西人」のねばりの強さ、執念にはおどろくほかはない。

ソヴェートロシアの新5カ年計画の進行にともなって、各国にあらたな脅威を与え始めてきたが、なかなかその真相は知らされないままであった。半面それ故にロシア経済に関する雑多な書物が1930年～1931年にかけて出版され輸入された。

雑多などといっは申訳ない。中には骨っぽい解説書もあった。Hoover, Calvin B.-The Economic Life of Soviet Russia. 1931, New York. The Macmillan. \$3.- (¥6.-). Ed dy, G.-Challenge of Russia. 1931, New York. Farrar. \$2.50 (¥5.-) などのほか数十タイトルもあった。もう一点 Karl Kautsky 著の英訳 “Bolshevism at a Deadlock” Tr. by B. Pritchard. 1931, London. G. Allen. 6s. (¥3.00) も挙げておかねばならない。

ヒットラーの擡頭による新興ドイツ共和国への関心もたかく、いろいろのタイトルが出てくる。中で Miltenberg 著 “Adolf Hitler; Wilhelm III” (1931) といったおどけた書名もある。ご承知のようにカイザア・ウイヘルム二世は、世界大戦の終末1918年11月に退位を余儀なくされて、オランダに亡命したから、今度はヒットラーをウイヘルム三世と祭りあげたような、ひやかしたような本であらう。

1931年5月に丸善で Special Division Display on “Sociology, Economics and Commerce” という洋書の部門別、特別展示即売会を催した。この原稿を書くために、その時の目録を探し出して、あらためて見直して驚いたことがある。今から考えると、その頃は思想的に取締りが大分やかましくなっていて、(共)の字だけでもうさく、その方面の洋書も輸入禁止で、ひっかゝるのが多かったように思うのである。ところが、この目録には “Socialism” と並んで “Communism” の分類で一項目が立てられ数十点の (共) 文献が収録されているのである。それから、附録古書広告に Marx の Das Kapital の初版 3 Bde. in 4. が ¥135.- で出ている。一昨年あたりこの本の第一巻初版の出版100年記念で、だいたい世間が関心をたかめていて、たまたま古書展に現われたセットが、百万円をはるかに超えた値付けであったのと思い比べてみると、30余年の年月のへだたりは思ったより、はるかに遠いような気もしてくる。

1930年 “The Complete Journal of Townsend Harris. First American Consul General and Minister to Japan. Intro. & Notes by Mario Emilio Cosenza. (Prof. of Classical Languages. The College of the City of New York). 8vo, xix, 610 頁がニューヨークの Doubleday, Doran社から (\$5, ¥10.) で出版された。十一谷義三郎が創作「唐人お吉」を中央公論に連載しだして、大評判となったのは昭和3年。翌4年には単行本として発売されて、大げさにいうと一世を風靡した感があるほどのベストセラー。以来、今日にいたるも伊豆、ことに下田は唐人お吉におんぶした観光地といってもよい。お吉の名とともに、初代アメリカ総領事タウンゼンド・ハリスの名はそれまでは一部史家の間に知らるるばかりであったのが、一躍幕末ロマンの世界の立役者の一人となってしまう。いうまでもなく、敬虔なクリスチャンである彼を、単に情痴の世界にのみ躊躇させるのは気の毒の感がある。母国アメリカの与望を担って、東洋諸国に使いした有能多才の外交官であり、1858年9月4日遂に下田の領事館に最初の星条旗を翻して、わが近世外交史に劃期的な変化を与えた人物であっ

た。1930年初めて活字となった彼の手記に係る4年間の滞留日記並びに往復文書を網羅した本書は、異境に於ける生活を語ると共にアメリカの極東政策の経緯を明らかにし、特にわが幕末政府との交渉を審らかにしている点で幕末関係の歴史学者のみならず、一般読者にも真摯な興味をわかせた出版物であった。のち、本書を玉城肇が邦訳して岩波文庫中に出版し、更に近年 Tuttle 社で本書の翻刻版を出版して現に市販されていることはご承知のごとくである。

外交物では、アメリカでスリリングな書物 Yardley, Herbert O.-The American Black Chamber. 8vo, 375 頁 (\$3.50 ¥7.) が出版され1931年8月に入荷した。本書はアメリカの外交機密の一大事件として、アメリカ本国はもとより世界各国人士にショックと興味を与えた behind-the-scenes history であってわが国でもベストセラーであった。第一次世界大戦時より、ワシントン軍縮会議に至るまで、アメリカ政府が世界列国の秘密電報盗読の顛末記である。当時暗号読解に当たっていた米政府情報部暗号読解班の主任者ヤードレイが退職後の著述。著者は回顧して、もっとも判読に悩まされたのはドイツと日本の暗号であったといっている。

少しく筆がさかのぼるが、暗号読解研究の洋書としては、フランスで André Langie が “De la cryptographie Études sur les écritures secrètes.” 12mo, iv, 254 頁が 1918年に Payot 社から出版されている。更にこれを J. C. H. Macbeth が英訳した “Cryptography: A Study of Secret Writing” 8vo, vii, 192頁、が1922年ロンドン Constable 社で刊行されている (このほかにも数著がすでに出版されている)。

O. H. Yardley は翌1932年に “Yardleygrams: Elementary Course in Cryptography” というタイトルで今度は暗号読解の研究指導書を Indianapolis の Bobbs 社 (\$1.50) から出版したことも附け加えておく。(ただしこの本は余り売れなかった。)

スキーは昭和の初年にはまだ一部の学生たちその他によって行われているにすぎなかったが、昭和も7、8年頃になると、にわかになら一般化してきた。といっても、現今の状態から眺めれば知れた数の人々がスキーをやっていたので、むしろ嗜んでいた位のところであった。この頃オーストリア・ドイツのスキー技術を明解に紹介した “Wunder der Schneeschusen” Von a Fanck und H. Schneider. という本が輸入された。大判、250頁余りで、242の単独図と1,000以上の映画写真を満載した好著で、1926年出版以来毎季々々スキーの新指導書として大好評であった。著者達はこの本の出版直後ころ来日して、日本のスキー場巡りをして、各地で指導し野沢スキー場ではスナイダーが直滑降をやったのけた大スロープを、爾来 “スナイダースロープ” と名づけた程に熱があがった。この本は和訳され “スキーの驚異” の邦文タイトルで発行されたことも思い出される。今日では欧文のスキー指導書は殆ど輸入することもないと思うが、1930年代には、逆にスキーの和書は見向きもされなかったといえよう。

書いているうちに、ついでだ路に入りすぎた。今となると、この当時は洋書輸入最盛期といってもよい頃で、丸善の Announcement も5、15、25日の月3回発行でもご案内が遅れ勝ちのありさまであった。

海外ニュース

『リースコ社がパーガモン社を買収か』

ニューヨークの The Leasco Data Processing Equipment Corporation は、英国の、学術書や百科事典の出版で知られる Pergamon Press に対し 6,000 万ドルで買収を申し入れた。パーガモン社の社長で、同社の株の35%を所有しているロバート・マクスウェル氏は、この申し出を受け入れた。ニューヨーク・タイムズ紙、6月19日号によれば、リースコ社がパーガモン社を支配するに十分な株を手中に収めるのは間もないであろう。

パーガモン社の株価は、26シリング6ペンスであったがこの買収に際し、37シリングという高価をつけられている。この価格で株を売却すれば、マクスウェル氏は、約2,000万ドルを受け取るになり、そのうち600万ドルは現金で、残額はリースコ社の株で受け取ることになっている。

マクスウェル氏は、リースコ社の役員会の副会長と、リースコ社の子会社 Leasco Trading Co. の社長の地位を約束されている模様である。

マクスウェル氏は、第二次大戦中にチェコからイギリスに亡命し、戦後約20年間で今日の大パーガモン社を築き上げた。昨年、パーガモン社は2,700万ドル以上の業績をあげているが、このうち33%は、アメリカの支店から収めたものであった。

(Publishers' Weekly, 1969年6月30日号より)

「スウェーデンの出版統計」

最近ストックホルムで発表された統計によれば、スウェーデンの1968年の総出版点数は5,898点(49ページ以上)であった。その他すべてのユネスコ基準外の出版物をも合わせれば、8,029点となる。ちなみに1967年の総出版点数は、5,809点または8,007点であった。

この数字はこれまでの最高記録であり、人口わずか800万、それに書籍の輸入量がきわめて多いことを考えれば、国際的にきわめて高い水準にあると云えよう。過去10年間

においては、総出版点数は4,151点から5,898点に、すなわち約40%の伸びを示した。

1968年の出版点数を分野別に見れば、文学書が1,416点で圧倒的な地位を占め、自然科学書720点、工学書684点、経済書597点、医学書507点等となっている。

言語別に見れば、スウェーデン語で書かれたものは6,220点(小冊子を含む)で、このうち外国語からの翻訳は1,460点である。スウェーデンでは英語で出版される数は多く、1,096点にのぼる。その殆んど(1,087点)は専門書または学術書である。

小冊子を含む総出版点数を「専門書」「文学書」「児童書」に大別して示せば：

	点 数
専 門 書：	5,561
文 学 書：	1,416
児 童 書：	505
計	7,482

また翻訳書の内訳を原語別に示せば：

原 語	点 数
英 ・ 米 語……………	931
ド イ ツ 語……………	120
フ ラ ン ス 語……………	114
デン マーク 語……………	82
ノル ウェー 語……………	63
イ タ リ ア 語……………	28
フィンランド語……………	22
オ ラ ン ダ 語……………	19

翻訳書を分野別に見れば：

	点 数
専 門 書……………	487
文 学 書……………	722
児 童 書……………	251

英・米語からの翻訳は文学書が多いが、ドイツ語の場合は逆に、専門書・学術書が主である。

(Börsenblatt 西独版、6月27日号より)

—— 紀伊国屋書店提供 ——

会 員 紹 介

視聴覚教材とともに!!

伸興通商株式会社

創業今なおひと桁。ジッと手を見る日々の連続でございますが、膨大な教育素材を前にして獅子奮迅、結構楽しい毎日でございます。この小さくて多岐にわたる視聴覚教材群を数年の暗中模索からどうやら大系らしいものの彼岸にまで整理出来たのではと、小さな体を真四角にしてつい威張ってみたいくなる私共、平々凡々の集りでございますが、約束ごとはよく守るよい子として皆様方の御役にたてれば又これ程うれしいことはございません。視聴覚教材についての御問合せなら、どうぞ伸興通商へ御遠慮なく御申し付け下さい。

ニュース

- 米 Appleton-Century-Crofts 社の International Division の Director, Mr. Thomas L. Begner 6 月中旬来日。
- 英 Weidenfeld & Nicolson 社の Mr. J. Howard

6 月下旬来日。

- 英 The Welding Institute, London の Director, Dr. Richard Weck 氏 7 月上旬上旬来日。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店のご案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

㈱ 極東書店 ☎ (265) 7531

Lexikon der Wirtschaft. 15 Bde. 1969-1957

(Vlg. die Wirtschaft/Staatsvlg. der DDR/Deutscher Landwirtschafts Vlg./Vlg. für Verkehrswesen, Berlin)

既刊 Band Arbeit ￥ 4,150

近刊 Band Industrie ca. ￥ 5,120

㈱ 教文館 (561) 8446代

The World Atlas of Agriculture.

4 vols. & 62 maps. 1969-1972 (I. G. A.)

1 set ca. ￥ 120,000

丸善株式会社 ☎ (272) 7211

All publications of "The Pharmaceutical Society of Great Britain" (Except for Periodicals)

(The Pharmaceutical Press, London)

The Cambridge Natural History. 10 Vols. Reprint

Edited by S. F. Harmer & A. E. Shipley

(1895-1909, London)

set ￥ 48,000 (Today & Tomorrow's Printers & Publishers, New Delhi)

ANTIMONOPOLY LEGISLATION IN JAPAN

By Hiroshi Iyori: Section Chief

of the Japanese Fair Trade Commission

(Federal Legal Publications)

1969. xix, 256 p. paper 概価 ￥ 3,180

お知らせ

ドイツ書展について

フランクフルトの Ausstellung-und Messe-GMBH より洋書輸入協会理事長宛に本年、東京、名古屋、大阪、京都の四都市でドイツ書籍販売組合主催の展示会を催すに当って、ポスター、リーフレットの配布等顧客の動員につき

協会員各位の御援助を願い度い旨申入れがありました。会期、会場について詳報がありませんが、理事会としては可能な範囲で協力することとし、その旨理事長名を以って回答致しました。尚その際9月26日から10日間は British Fairがある旨申添えました。後報が入りましたら改めて御案内いたします。

会員紹介

特色ある専門店として

株式会社 至成堂書店

社長堀秀光氏は戦後間もなく古書業会に入り、昭和31年より洋書輸入に転換、古書業会での経験を生かして、人文関係、特に思想史、西洋古典、独仏文学を主力とした在庫中心主義を特徴として、着実に発展してきました。今後の発展の為に他の分野にも力を注ぎ、今迄の在庫中心主義に、如何に合理的近代経営を加味して行くかが課題であります。書店らしい書店、即ち学術専門店として、学生及び学者に学問に対する意欲を、より起させる様なサービスをするというのがモットーであります。此の事は、先ず書店自身が、現代の経済機構の中に於いて自らの基盤を確保出来る経営をすると同時に、書店本来の内面的精進をして行く事によってのみ可能であると考え、社員一同勉強中です。業会各位の御鞭撻をまって、今後が期待されます。

お知らせ

Springer-Verlag 東京連絡所の室番号が8月1日より下記の通り変更になります。

電話は従来通りです。

東京都港区芝公園日活アパート720号

☎ 432 - 4567 (直通)

☎ 105

SPRINGER-VERLAG

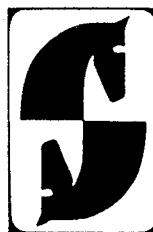
J. F. BERGMANN, MÜNCHEN

Berlin Heidelberg

Wien



New York



BEILSTEINS HANDBUCH DER ORGANISCHEN CHEMIE, 3. ERG. W

Band 7/Teil 4, XVII, 852 Seiten Gr. 8° Moleskin DM 960. —

Band 7/Teil 5 (7/29/69出版) DM 1,066

続刊 Band 8/Teil 1 本年10月出来予定

Band 8/Teil 2 // 12月出来予定

TECHNISCHE BÜCHER 1969 が出来、BOOKS IN ENGLISH catalog (Medicine, Biology, Math.-Physics-Chemistry, Engineering) も近日出来。

KURZTITEL-REGISTER zum Preisverzeichnis 改訂版今秋出来。

カタログご希望の方は部数お知らせ下さい。出来次第ベルリンより直送致します。

シュプリングー・フェルラーク

連絡先 東京都港区芝公園日活アパート720号
Tel. 432 - 4567

昭和44年7月 通巻第27号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271 - 6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371 - 5329